



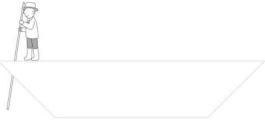
3歳児クラス 5月 第1回 「ガンピーさんのふなあそび」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返される会話。中でも「〇〇しなけりやね」「〇〇するんじゃないよ」のところがゆっくりしっかり伝わるように、強調して読む。 どんどん増える動物とその動物の心配のたね…それが原因になって…の話の展開にわくわく興味を持てるように読み進める。 	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
導入	<p>講：絵本を持って登場。「皆は船に乗ったことあるかな」問いかける。ゆったり、ほのぼのした温かみのある絵なので、リラックスした雰囲気作りをしてお話を始める。</p>	保育士の役割	

かくしゅうタイム

活動①	ことば	思ったことをことばにしてお話してみましよう	
設問	<p>絵本（舟がひっくりかえった場面）を見て、どうしてひっくり返ってしまったのか、また、どんな気持ちがあったかななどをみんなでお話ししましょう。</p>		なし
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> シアターのまます活動①へ進行。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ガンピーさんの舟ひっくりかえっちゃったね。どうしてひっくりかえっちゃったの？」シアター映像を戻しひっくりかえった場面を映して話し合う。 子：お話を思い出し「こどもたちがけんかした」「やぎがけつとばした」「子牛がどしんどしんあるいた」など意見を出していく。 講：発言に合わせ動物の映像を切り替えたり、「にわとりさんは何をした？」と映像からことばを引き出しても良い。また「舟に乗っているみんなはどんな気持ちなのか」など、さまざまな問いかけをして子どもたちからたくさんことばが出るように工夫をする。 保：言葉が出ない子の横につきヒントを与えたり、一緒に考え発言を促すなど個々に対応。 ※みんなの前で話せなくても、保育士との会話の中で表現が出来ていれば良い。（「〇〇ちゃんが〇〇って言ってます」と代弁してあげても良い。） 		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの出ない子のフォロー 		
活動②	巧緻性	正しいはさみの使い方カードを切り離す	
設問	<p>カードをハサミで切り離しガンピーさんの船に乗せましょう。</p>		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？だれかきたみたい」 保：「キーコ、キーコこんにちは一」とプリント提示。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ガンピーさんが舟に乗ってやってきました。こんにちは一。今日はおひとりですか？」とプリント受け取り会話。 保：「ガンピーさんほくたちも乗せて」と動物カード提示。 講：「ガンピーさんこんなにたくさん大丈夫ですか？」とプリントに耳を近付け「『仲良く順番に乗れるんだったらいいですよ！』だって」「でもくつついたままだと順番に乗れないね。どうしようか」と問いかける。 講：子どもの意見を聞いてカードをはさみで切る見本行動。 はさみの使い方 ※詳しくは映像参照 ①脇をしめ、刃先はまっすぐ前に向け、線の上を切る。 ②添える手は常にはさみに近い位置。「ちょーき、ちょーき」はさみが先に進んだら「ストップ」で止め「(添える手)持ち替えて」と近づけ切り進める。 ③使い終わったはさみは危なくないように片付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> P1 P1用動物カード ★はさみ 皿（切ったカードをド入れる）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提示 ・動物カード提示 ・はさみ提示 ・カード、はさみ配布 ・皿配布 ・ハサミ回収 ・プリント配布 		

<ul style="list-style-type: none"> ・保：「まだこんなにたくさん…」と配布カードを提示。 ・講：「こんなに乗ったらまたひっくりかえっちゃうね…。なにに…友だちが舟を持ってきてくれるって」「みんなも動物さんバラバラにして順番に乗れるようにしてあげよう。 ・保：動物カードとはさみ配布（配布後のはさみの安全に留意） ・子：はさみを使って切り離し皿に入れていく。 ・保：はさみを使い終わった子から速やかにはさみ回収。プリント配布。 ・講：はさみで切れたことを賞賛。「ひっくりかえないように先生が言った順番に乗っていきな」と約束。 ・講：「良く聞いてね」「まずは〇〇さんどーぞ」と順番に指示を出していく。 ・子：指示を聞いてカードを選びプリントの舟のポケットに差し込んでいく。 ・舟の乗る場所は自由もしくは前（プリント左、ガンピーさんに近いところ）からなど指示を出しても良い。 ・カードが全部乗せられたら「舟が進みます。お気をつけください」「とどこまでいこうか？」「お茶の時間です」などごっこ遊びを楽しみ終了する。 <p>※繰り返しカードの出し入れが可能な場合は「〇〇と〇〇を乗せてあげてね」など複数の動物を伝え、記憶の要素を盛り込みながら進行しても良い。</p>	
---	--

数子ヤレ	ねらい	比較	5対4のお皿を見比べて、多い方を指さす。	教材
設問			くらべっこ！どちらが多い？（5対4）	おはじき皿
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> ・講：「〇〇先生良く見てね」「♪くらべっこ♪くらべっこ、こっち（5こ）とこっち（4こ）どっちが多い？」リズムに乗せ楽しくクイズ形式で出題。見本行動。 ※「多い=いっぱい」であることを確認。 ・保：お皿をぱっと見比べて、多い方を「こっち！」と指さす。 ・しっかり比較させて「多い=いっぱい」を理解させていく。 	保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> ・答える見本行動。二つの皿を比べて「こっち」と指さす。 ・皿を持って比較させていく。